

1 イエスはこの群衆を見て、山に登り、座につかされると、弟子たちがみもとに近寄ってきた。  
2 そこで、イエスは口を開き、彼らに教えて言われた。

3 「ころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。  
4 悲しんでいる人たちは、さいわいである、彼らは慰められるであろう。  
5 柔和な人たちは、さいわいである、彼らは地を受けつぐであろう。  
6 義に飢えかわいている人たちは、さいわいである、彼らは飽き足りるようになるであろう。  
7 あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らはあわれみを受けるであろう。  
8 心の清い人たちは、さいわいである、彼らは神を見るであろう。  
9 平和をつくり出す人たちは、さいわいである、彼らは神の子と呼ばれるであろう。  
10 義のために迫害されてきた人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。

11 わたしのために人々があなたがたをののしり、また迫害し、あなたがたに対し偽って様々の悪口を言う時には、あなたがたは、さいわいである。  
12 喜び、よろこべ、天においてあなたがたの受ける報いは大きい。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。  
13 あなたがたは、地の塩である。もし塩のききめがなくなったら、何によつてその味が取りもどされようか。もはや、なんの役にも立たず、ただ外に捨てられて、人々にふみつけられるだけである。  
14 あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。  
15 また、あかりをつけて、それを柵の下におく者はいない。むしろ燭台の上において、家の中のすべてのものを照させるのである。  
16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父があがめるようにしなさい。

17わたしが律法や預言者を廃すためにきた、と思つてはならない。廃するためではなく、成就するためにきたのである。

18よく言つておく。天地が滅び行くまでは、律法の一点、一画もすたることはなく、ことごとく全うされるのである。

19それだから、これらの最も小さいいましめの一つでも破り、またそうするように人に教えたりする者は、天国で最も小さい者と呼ばれるであろう。しかし、これをおこないまたそう教える者は、天国で大いなる者と呼ばれるであろう。

20わたしは言つておく。あなたがたの義が律法学者やパリサイ人の義にまさつていなければ、決して天国に、はいることはできない。

21昔の人々に『殺すな。殺す者は裁判を受けねばならない』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

22しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。兄弟にむかつて愚か者と言う者は、議会に引きわたされるであろう。また、ばか者と言う者は、地獄の火に投げ込まれるであろう。

23だから、祭壇に供え物をささげようとする場合、兄弟が自分に対して何かうらみをいだいていることを、そこで思い出したなら、

24その供え物を祭壇の前に残しておき、まず行つてその兄弟と和解し、それから帰つてきて、供え物をささげることにしなさい。

25あなたを訴える者と一緒に道を行く時には、その途中で早く仲直りをしなさい。そうしないと、その訴える者はあなたを裁判官にわたし、裁判官は下役にわたし、そして、あなたは獄に入れられるであろう。

26よくあなたに言つておく。最後の一コドラントを支払つてしまうまでは、決してそこから出てくることはできない。

27『姦淫するな』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

28しかし、わたしはあなたがたに言う。だれでも、情欲をいだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫をしたのである。

29もしあなたの右の目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい。五体の一部を失つても、全身が地獄に投げ入れられない方が、あなたにとって益である。

30もしあなたの右の手が罪を犯させるなら、それを切つて捨てなさい。五体の一部を失つても、全身が地獄に落ち込まない方が、あなたにとって益である。

31また『妻を出す者は離縁状を渡せ』と言われている。

32しかし、わたしはあなたがたに言う。だれでも、不品行以外の理由で自分の妻を出す者は、姦淫を行わせるのである。また出された女をめとる者も、姦淫を行うのである。

33また昔の人々に『いつわり誓うな、誓つたことは、すべて主に対して果せ』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

34しかし、わたしはあなたがたに言う。いっさい誓つてはならない。天をさして誓うな。そこは神の御座であるから。

35また地をさして誓うな。そこは神の足台であるから。またエルサレムをさして誓うな。それは『大王の都』であるから。

36また、自分の頭をさして誓うな。あなたは髪の毛一すじさえ、白くも黒くもすることができない。

37あなたがたの言葉は、ただ、しかし、しかし、否、否、であるべきだ。それ以上に出ることは、悪から来るのである。

38『目には目を、歯には歯を』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

39しかし、わたしはあなたがたに言う。悪人に手向かうな。もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。

40あなたを訴えて、下着を取ろうとする者には、上着をも与えなさい。

41もし、だれかが、あなたをしいて一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。

42求める者には与え、借りようとする者を断るな。

43『隣り人を愛し、敵を憎め』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

44しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。

45こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。

46あなたがたが自分を愛する者を愛したからとて、なんの報いがあるか。そのようなことは取税人でもするではないか。

47兄弟だけにあいさつをしたからとて、なんのすぐれた事をしていだろうか。そのようなことは異邦人でもしているではないか。

48それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。



1人をさばくな。自分がさばかれなかったためである。  
 2あなたがたがさばくそのさばきで、自分もさばかれ、あなたがたの量るそのはかりで、自分にも量り与えらるであろう。  
 3なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。  
 4自分の目には梁があるのに、どうして兄弟にむかって、あなたの目からちりを取らせてください、と言えようか。  
 5偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい。そうすれば、はつきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取りのけることができるだろう。  
 6聖なるものを犬にやるな。また真珠を豚に投げてやるな。恐らく彼らはそれらを足で踏みつけ、向きなおってあなたがたにかみついてくるであろう。

7求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。  
 8すべて求める者は得、捜す者は見だし、門をたたく者はあけてもらえるからである。  
 9あなたがたのうちで、自分の子がパンを求めるのに、石を与える者があろうか。  
 10魚を求めるのに、へびを与える者があろうか。  
 11このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物を知っているとするれば、天にいますあなたがたの父はなおさら、求めてくる者に良いものを下さらないことがあろうか。  
 12だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。

13狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからはいつて行く者が多い。  
 14命にいたる門は狭く、その道は細い。そして、それを見いだす者が少ない。

15にせ預言者を警戒せよ。彼らは、羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、その内側は強欲なおおかみである。  
 16あなたがたは、その実によつて彼らを見わけるであろう。茨からぶどうを、あざみからいちじくを集める者があるか。  
 17そのように、すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。  
 18良い木が悪い実をならせることはないし、悪い木が良い実をならせることはできない。  
 19良い実を結ばない木はことごとく切られて、火の中に投げ込まれる。  
 20このように、あなたがたはその実によつて彼らを見わけるのである。

21わたしにむかつて『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである。  
 22その日には、多くの者が、わたしにむかつて『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名によつて預言したではありませんか。また、あなたの名によつて悪霊を追い出し、あなたの名によつて多くの力あるわざを行ったではありませんか』と言うであろう。  
 23そのとき、わたしは彼らにはつきり、こう言おう、『あなたがたを全く知らない。不法を働く者どもよ、行つてしまえ』。

24それで、わたしのこれらの言葉を聞いて行うものを、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。  
 25雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけても、倒れることはない。岩を土台としているからである。  
 26また、わたしのこれらの言葉を聞いても行わない者を、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができよう。  
 27雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけても、倒れてしまう。そしてその倒れ方はひどいのである」。

28イエスがこれらの言を語り終えられると、群衆はその教にひどく驚いた。  
 29それは律法学者たちのようではなく、権威ある者のように、教えられたからである。